



7月のほけんだより



令和8年7月1日
おとぎ保育園
看護師 坂井
小栗

本格的な夏がそこまできています。気温も湿度も一気に上昇していくこれからの季節、水分補給や体調管理にはいつも以上に気を配っていきましょう。天気がいい日はプール遊びをし、涼しい時間帯は外遊びをして、暑さに負けない体づくりをしていきましょう。

おとぎ先月の感染症	
・ヘルパンギーナ	2名
・溶連菌感染症	2名
・RSウイルス感染症	1名

蚊に刺されると、 すぐはれるのはなぜ？



1~2日後には
はれてくるよ

蚊は、血液を吸うときに自分の口から唾液の成分を私たちの体に注入します。この成分に、免疫が過剰に反応してアレルギーを起こし、はれやかゆみを起こします。

ただ、蚊に刺されたことのない赤ちゃんや小さな子どもでは、体の中でアレルギーが起こるのに時間がかかり、反応も強くなります。そのため、少し時間がたってから、すぐはれてびっくりすることがあります。

「たかが蚊」とあなどらないで

赤ちゃんのころは蚊に刺されるとひどくはれていたのが、成長とともに、ちょっとふくれて、1~2時間ほどで治まるようになってきます。「これなら大丈夫」と思いたいところですが、子どもはかき壊して傷になることがあるので注意しましょう。



虫を寄せつけない工夫も大事

長そで、長ズボンで肌を覆う、虫よけを適切に使うなどで、蚊に刺されるのを防ぎます。

かき壊しから皮膚トラブルになることも

虫刺されをかくて皮膚に傷ができ、そこからばい菌が入り「とびひ」などの皮膚トラブルを起こすことがあります。かき壊しを防ぐためには、次のポイントに気をつけましょう。

かゆみをやわらげる

かゆみ止めを塗ったり、水で冷やしたりしてかゆみをやわらげます。

つめを切る

つめが伸びていると皮膚を傷つけます。短く切って、角はやすりなどで削ってあげましょう。

登園前に虫よけをしたり、虫よけパッチを貼っての登園も可能です。
※パッチを貼ったら、必ず名前と日付を記入して受け入れ時に先生に伝えてください。